



# 輝け!

第19号  
- 2021.3 -

# よこすかの 子どもたち



# 「児童生徒1人1台端末」の実現へ

文部科学省から示された「GIGAスクール構想」を受け、横須賀市では、市立小・中学校と特別支援学校において、1人1台端末の導入を予定しています。現在、令和3年度からのスムーズな活用を目指し、さまざまな準備を進めています。

## ★「GIGAスクール構想」とは…？

義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワーク等を一体的に整備する計画のことです。その目的として、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現すること」としています。

これまでの  
教育実践の蓄積

×

ICT

=

- 学習活動の一層の充実
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善



ICTの活用により、  
「調べ学習」「表現・制作」「遠隔教育」「情報モラル教育」  
等の充実が期待されます



### 「1人1台端末」でない環境

一斉学習

教師が大型提示装置等を用いて説明し、子どもたちの興味関心意欲を高めることはできる

学びの  
深化

- 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
- ➡ 子どもたち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に

個別学習

全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)

学びの  
転換

- 各人が同時に別々の内容を学習
- 個々人の学習履歴を記録
- ➡ 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能

協働学習

意見を発表する子どもが限られる

- 一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有
- 子ども同士で双方向の意見交換が可能に
- ➡ 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

児童生徒1人1台端末の導入に先立ち、昨年11月には、市立幼稚園、小・中学校と特別支援学校に1台ずつ、学校用端末とWi-fiルーターを配付しています。各学校園では、この端末を1人1台端末の導入に向けた研修等に活用するとともに、オンラインを活用した学校園間での打ち合わせや、教職員の研修をオンラインで実施する際などにも活用しています。

## オンラインを活用した中学校紹介の実施

鴨居中学校ブロック（鴨居中学校・鴨居小学校・小原台小学校）では、3校の学校用端末をオンラインでつなぎ、鴨居中学校の生徒会役員による学校紹介を、鴨居小学校、小原台小学校の6年生がそれぞれ集会形式で視聴する「オンライン中学校紹介」を実施しました。

この会では、小学校からの質問コーナーを設けるなどの工夫があり、それぞれの小学校の6年生が、とても意欲的に参加している様子が見られました。また、鴨居中学校の生徒会も、楽しい中学校生活の様子をクイズ形式にするなど、工夫して小学生に伝えていました。



## 日産工場見学のオンラインでの実施

例年、市立小学校の5年生が日産追浜工場を訪問して実施している「日産工場見学」を、オンラインにより実施しました。

動画視聴と質疑応答で構成された内容での実施でしたが、事前学習とあわせた取り組みの工夫により、子どもたちは熱心にメモをとったり、積極的に質問を出したりするなど、意欲的に参加する姿が多く見られました。



岩戸小でのオンライン見学の様子

## 地域の力を子どもたちの豊かな成長に

横須賀市では、地域の方にとって愛着のある小学校を地域コミュニティの拠点として、子どもから高齢者までさまざまな世代の交流を促進するとともに、子どもたちに生き生きと活躍する大人の姿を見せ、将来、地域活動へ自然に参加できるような環境づくりを目指すことを目的とし、市立小学校3校(鷹取小学校、汐入小学校、馬堀小学校)をモデル校として「スクールコミュニティ」の取り組みを進めています。

この取り組みにより、子どもたちには、家族以外の世代を超えた大人と関わり、思いやりや社会のルールを体感することを通して、豊かな人間形成がなされることを目指しています。

### 鷹取小学校での活動

鷹取小学校では、総合的な学習の時間において、小学校に隣接する西友広場の壁面リフォームを行いました。この広場は、地域の中心であり様々なイベント等で使用されている子どもたちにとっても愛着のある場所です。日頃の交流により、地域愛が醸成され、自らの手で大切にしていきたいという気持ちが育っています。



### 汐入小学校の活動

汐入小学校では、地域の有志によって発足された「汐入こども応援団」が、放課後に児童と交流する「放課後こどもサポート活動」を実施しました。

郷土かるたである「横須賀カルタ」や、廃材を利用した工作をするなど、言葉を交わしながら楽しい時間を過ごし、毎回多くの子どもたちが参加しました。



### 馬堀小学校の活動

馬堀小学校では、馬堀小学校区地域づくり協議会と連携してこの活動に取り組んでいます。子どもたちを取り巻く地域の輪を広げるため、「スクコミだより」を発行し、地域住民への周知活動を行っています。

1月に実施予定であった「たき火を囲む会」は緊急事態宣言のため延期となりましたが、子どもたちの笑顔のために多くの大人が参加し、積極的に準備が進められてきました。



「こんな時だからこそ、子どもたちを笑顔にしたい」

「思い出を作ってあげたい」・・・など

地域、保護者、学校が想いを一つにして、子どもたちのために今できることや、今後の活動の在り方等について、検討を重ねています。

スクールコミュニティに関するお問合せ

横須賀市役所 市民部 地域コミュニティ支援課

☎046-822-9510

また、本年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響により、市立学校全校で修学旅行が中止となったのははじめ、多くの行事が中止や内容の変更を余儀なくされました。

そのような中、各学校では、子どもたちの充実した思い出づくりのために、さまざまな代替行事の工夫・検討を行い、取り組みを行いました。

## 浦賀・鴨居6年生思い出プロジェクト

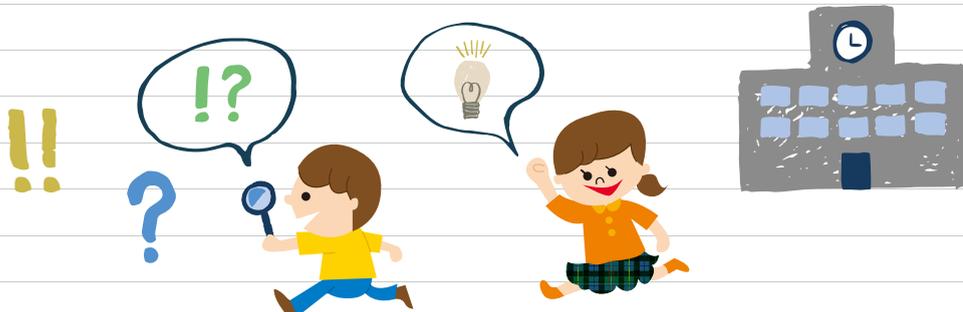
この取り組みは、浦賀奉行所復元協議会をはじめとした複数の地域団体が発起団体となり、地元小学校を支援するために、6年生の修学旅行の代替行事として、浦賀地区の史跡見学やヨット乗船体験等の活動が行われました。令和2年11月に、浦賀小学校、高坂小学校、大塚台小学校、鴨居小学校、小原台小学校の6年生が学校ごとにコースや内容を設定し、実施しました。

参加した子どもたちは、自分たちの住む街について、みんなでじっくり学ぶという日ごろなかなかできない貴重な経験を通して、楽しめただけでなく、新たな気づきや発見から多くのことを学ぶことができた体験になったようです。



高坂小学校の活動の様子

本紙の前号(第18号)で新しい学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」についてお伝えしましたが、これらの取り組みは、「学校教育を学校内で閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させていく」という部分につながるものになっていると考えられます。

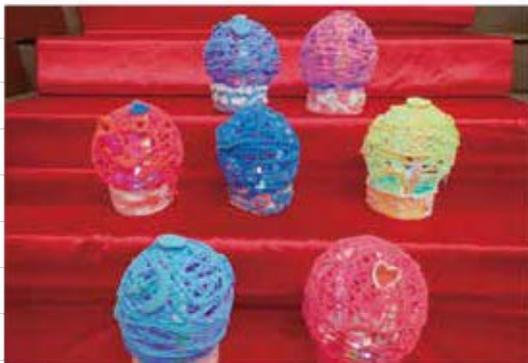


## 横須賀の子どもたちの活躍

### 子どもたちの力作をオンラインで展示しました

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、様々な作品展も大きな影響を受けました。例年通りの作品展はできませんでしたが、子どもたちの思いあふれる作品をホームページ等にて作品を公開しました。

#### ■ 第10回 横須賀市児童生徒ふれあい作品展



令和2年12月4日から8日まで文化会館で開催予定でしたが、今回は「令和2年度横須賀市児童生徒ふれあいフェスタ」のWebイベントページ(国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センターのホームページ上)において公開としました。

#### ■ 第73回 児童生徒造形作品展



市立幼稚園から市立高校までの児童生徒の作品を1月9日から約3週間、横須賀美術館で公開を予定していましたが、1月11日までの限定開催となりました。作品展の様子は横須賀美術館ホームページにて2月28日までオンライン展示を行いました。



## ■ 第31回 横須賀市読書感想画展

1月9日から12日まで、文化会館にて市内小中学校で取り組まれた読書感想画の作品を展示しました。展示期間が短縮されたことを受け、2月28日まで、横須賀市教育委員会内のホームページにてオンライン展示を行いました。



このほか、児童生徒書写作品展も開催予定でしたが、中止となり各学校にて工夫して作品が展示されました。令和3年度も上記作品展は同時期の開催を予定していますが、例年通りの作品展示ができるようになることを願っています。

## 部活動での活躍

部活動等においても、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの大会や発表会等が中止や延期等の変更を余儀なくされる一年となりました。しかし、そのような中でも、横須賀の子どもたちの活躍が見られました。

久里浜中学校女子駅伝競走部の皆さんは、令和2年10月17日(土)に不入斗公園陸上競技場で行われた市大会で優勝、11月7日(土)に横浜市・海の公園周回コースで行われた県大会で3位入賞を果たし、関東大会に出場しました。

関東大会は12月5日(土)に茨城県・笠松運動公園内周回コースで行われました。雨天で気温が10℃を下回るコンディションの中でしたが、全5区間(12.37km)を、44分51秒のタイムで5人の選手が襷をつなぎました。



# 子どもと向き合う環境づくりを推進します

## ～学校における働き方改革の推進～

現在、教員の多くが、勤務時間を大幅に超えた長時間勤務を行っている実態があります。

教員が心身共に健康で子どもたちと接することが、横須賀の目指す子どもの姿や、一層活気のある学校につながります。

そこで本市においても、次の取り組みを行います。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



- 国・神奈川県 の指針を受け、教員の時間外勤務時間の上限を月45時間、年360時間の範囲内とする規則を制定し、令和3年4月1日から施行します。
- 教職員の年次休暇等の取得促進のため、夏季休業期間及び年末年始に「学校閉庁日」を設定します。 ※令和3年度は、8月10日(火)～13日(金)、12月28日(火)、令和4年1月4日(火)を予定しています。
- 教職員の勤務時間や電話連絡の対応時間等を記載した依頼文書を、4月以降、保護者・地域のみなさまに配布し、お知らせします。

「輝け!よこすかの子どもたち」は、ホームページでもご覧いただけます。

(これまでのバックナンバーも掲載しています)

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/>

よこすかの子どもたち

検索

《編集・発行責任者》

横須賀市教育委員会事務局  
教育総務部 教育政策課



この冊子についてのご意見やご感想をお寄せください。

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

TEL: 046-822-9709

FAX: 046-822-6849

E-mail: [sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp)



以下は広告スペースです。市の収入の一部に当てるため広告を掲載しています。内容については広告内の連絡先にお問合せください。